

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	おおたかの森センター施設管理事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	05	03	01 02
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進	主管課長	中西 直人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	おおたかの森センター利用者	意図	安全で快適に利用できる状態にする。
事業内容	おおたかの森センター利用者が快適に利用できるよう施設の維持管理のために修繕を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	・流山おおたかの森小・中併設校との併設で、平成27年4月に開館した施設である。利用者の要望に対応し、トイレの便座の暖房便座取替え修繕を実施した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	施設の稼働率			31.40	%
②	施設利用件数の増減率				%	↑↑↑	当該年度／前年度－1
③	施設利用人数の増減率				%	↑↑↑	当該年度／前年度－1
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・安心して快適に利用できるようにする。 ・実施計画に沿った改修を行い施設の整備を実施する。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				1,537,810			
事業費(b)(円)				31,810			
うち一般財源				31,810			
職員給与費(c)(円)				1,506,000			
人役・職員(人)				0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	利用者の安全確保のため、快適な施設の整備に取り組む。	③取組の課題	指定管理者との連絡を密にし、情報を共有し、緊急性の高い設備等の改修を行っていく必要がある。
②今年度(H27)に実施した取組	定期的に指定管理者の連絡会議を実施し、施設管理及び運営上の議題を協議、情報の共有に努めた。	④今後の改善計画	施設の保全計画に沿って、建物及び設備の保全を進めていく。